(19)日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開發号

## 特開平11-255690

(43)公開日 平成11年(1999)9月21日

(51) Int.CL.*	線別配号								
C07C 39/17			C 0 1	7 C 3	9/17				
31/02	•			3	1/02				
35/08				35/08					
37/88				· 3'	7/88				
49/20	•				9/20			Α	
_,		審查語象	未韵求		の数7	OL	(全	8 夏)	最終頁に続く
(21)出顯番号	<b>特顧平10-63172</b>	····	(71)	<u></u> 山頤人	000206	901			
					大塚化	学株式	会社		
(22) 出願日	平成10年(1998) 3月13日				大阪府	大阪市	中央区	【大手選	13丁目2番27号
			(72)	究明者	回家	充生			
	•				徳岛県	簡島市	川内田	「加賀多	(野463 大塚化
					学株式	会社链	出列多	对内	
			(72)	范明者	濱 裕	可			
					徳島県	德島市	川内田	「加賀多	<b>野463</b> 大塚化
					学株式	会社德	的是	内何别	
			(74)	代理人	弁理士	三枝	英二	二 (例	10名)
		,							

## (54) 【発明の名称】 包接化合物、その製造方法及び使用方法

## (57)【要約】

【課題】 本発明は、簡便な操作で極めて高純度の自己 TPを製造するために使用される包接化合物及びその製造方法を提供することを課題とする。

【解決手段】 本発明の包接化台物は、2,3、6,7、10,11-ヘキサヒドロキシトリフェニレンであるホスト化台物とゲスト化合物とからなる包接化合物である。